重点政策③　外国人材受け入れの適正化

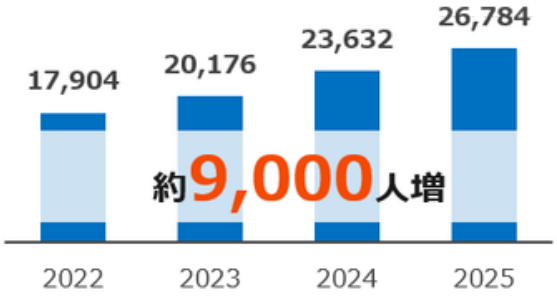
■ 急速な増加を踏まえた実態把握

松戸市の外国人住民は約27,000人で、市民のおよそ19人に1人にあたります[4]。2022年からわずか3年で約1.5倍、約9,000人増えました。人口の推移や地域ごとの状況を継続的に把握し、行政サービスや地域への影響を検証します。

外国人住民数

約27,000人

人口比 約5.3%



外国人住民数の推移[3]

■ 市民生活を基準に受け入れの適正化を

受け入れを前提とするのではなく、市民の暮らしや地域の受け入れ能力を踏まえて考えることが重要です。自治体として受け入れ体制の課題を整理し、必要な制度改善と適正化を進めます。

■ リスキリングで地域の人材を生かす

人手不足の解消を外国人材の受け入れだけに頼るのではなく、まず地域の人材が力を発揮できる環境を整えます。介護・物流・建設・ITなど人手が足りない分野を中心に、学び直し（リスキリング）の機会を広げ、地元企業への就職につなげる支援を進めます。

松戸市の完全失業者

約9,400人

（2020年国勢調査）



地域の人材を生かし
仕事を回せる
仕組みづくりを

[4] 令和7年6月末千葉県内在留外国人数，千葉県ホームページ



まえはなわたるは
地域の皆さまのために挑戦を続けます！

発行責任者：まえはなわたる事務所　　連絡先：wataru.maehana@gmail.com



参政党
sanseito

松戸市政改革委員

まえはな わたる

- 昭和60年生まれ・40歳・松戸市幸田在住・二児の父
- 総合コンサルティングファーム勤務
- 診療放射線技師 / 医学物理士
- 横浜国立大学大学院 博士課程前期修了 修士(工学)

現場を知り、課題を解き、松戸の未来を創る

参政党 松戸市政改革委員の **まえはな わたる** です。
私はがん医療の現場で「病と向き合う方々の大変さ」を、医療機器メーカーで「日本市場の脆弱化」を、コンサルティング会社で「業務の見直しや人材育成で組織が強くなる手応え」を身をもって感じてきました。
この経験を生かし、**次の世代を担う子どもたちのための子育て・教育環境の充実**、**命と暮らしを守る予防医療・がん検診の推進**、そして、**地域の実情に即した外国人材受け入れの適正化**に、全力で取り組みます。
現場を知り、課題を解き、松戸の未来を創る。その一歩を皆さまとともに踏み出します。

日々の活動報告や、イベントの案内はこちら

選挙ドットコム　X　Instagram　LINE

まえはな わたる 3つの重点政策

重点政策①　子育て・教育環境の充実

■ いじめ・不登校対策/多角的な評価

令和6年度、不登校は小学生430人・中学生665人[1]。増加傾向が続いています。早期発見・早期支援を強化するとともに、学校だけに頼らない多様な学びの場を広げ、子ども一人ひとりに合った学びを支えます。あわせて、学力だけでなく、部活動や文化・芸術、地域活動など、一人ひとりの得意や努力が正しく評価される、多様な学びと評価の仕組みを目指します。



[1] 令和7年度 松戸の教育，松戸市教育委員会

■ 校舎/遊具などの施設の更新

「壊れるまで使う」という老朽化した学校施設の現状を改めます。築60年に迫る校舎や体育館は、子どもたちの学びの場であると同時に、災害時には地域の避難所にもなる大切な拠点です。点検結果に基づいて優先順位を明確にし、更新を前倒しで進めます。あわせて、安全上の理由から撤去が進む遊具も、そのままにせず計画的に更新します。子どもたちが安心して学び、のびのびと遊べる環境を整えます。

92%
学校施設長寿命化・
再整備計画
（296／322棟）

「壊れるまで使う」から
「計画的に更新する」へ

市内の学校施設の多くは、昭和40～50年代の人口急増期に建てられたもので、一斉に更新時期を迎えています[2]。

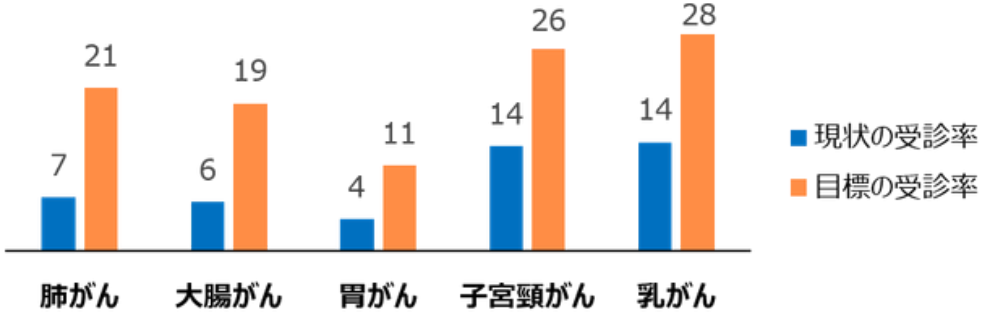
[2] 松戸市学校施設長寿命化・再整備計画（第Ⅰ期），松戸市教育委員会

重点政策②　予防医療・がん検診の推進

■ がん検診の推進

がん対策の基本は、症状が出る前の早期発見です。しかし市のがん検診受診率は、いずれも目標の3分の1～2分の1程度にとどまっています。事前登録や申込み手続きを見直して受診しやすい仕組みに改め、医療の専門知識を生かし、早期診断・早期治療につながる検診体制を整えます。

がん検診受診率（松戸市・%）



■ 予防医療の充実

健康寿命を延ばし、医療費を抑える鍵は「重症化させないこと」です。市の特定健診の受診率は37%にとどまっています。受診の促進と生活習慣病の重症化予防に加え、運動・食事・禁煙・口腔ケアを推進し、データと医療の知見を生かした、効果の見える予防医療を進めます。

がん医療の現場を知る専門職として

診療放射線技師・医学物理士として、がん治療の現場に携わってきた経験を、検診から治療までを見通した仕組みづくりに生かします。

市民の健康維持と
持続可能な医療体制の両立を目指します

[3] 松戸市「健康松戸21Ⅳ令和7年度アクションプラン」